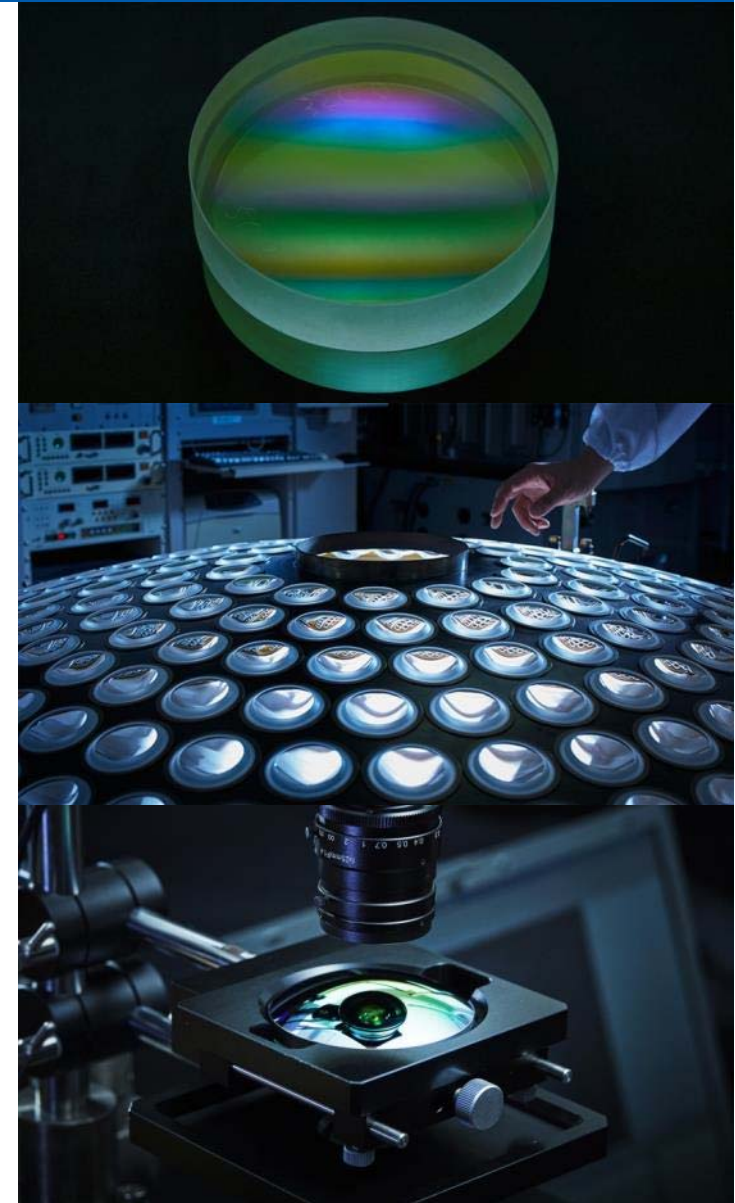


## 2019年12月期 決算説明会

2020年2月7日（金）  
株式会社タムロン  
（証券コード：7740）



# 目次

---

## I.総括・中期経営計画進捗

1. 2019年総括
2. 中期経営計画と進捗
  - ①連結業績
  - ②分野別動向

## II.2019年実績

1. 2019年通期実績
2. 営業利益変動要因
3. 2019年セグメント別通期実績
  - ①写真関連事業
  - ②レンズ関連事業
  - ③特機関連事業

## III.2020年計画

1. 2020年通期計画
2. 2020年セグメント別通期計画
  - ①写真関連事業
  - ②レンズ関連事業
  - ③特機関連事業
3. ESGへの取り組み

## IV.参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

**TAMRON**

---

# I. 総括・中期経営計画進捗

**TAMRON**

# I - 1 . 2019年 総括

## 【 経 営 環 境 】

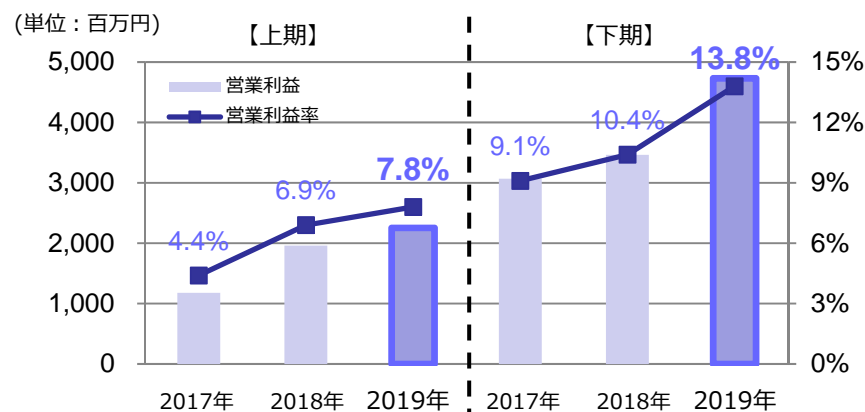
- 市場環境 : ・レンズ交換式カメラ ⇒ 前期比20%減  
(カメラ動向 → 一眼レフ : 前期比41%減、ミラーレス : 前期比4%増)  
※数値は金額ベース
- ・交換レンズ ⇒ 前期比12%減  
(レンズ動向 → APS-C : 前期比23%減、フルサイズ : 前期比6%減)
- ・コンパクトデジタルカメラ ⇒ 前期比18%減
- ・監視カメラ/車載カメラ ⇒ 成長が継続
- 為替動向 : ドル・ユーロともに円高 (特にユーロが8円円高)

## 【 当 社 業 績 】

- 主要市場のデジタルカメラ市場が縮小するも**増収**
- **過去最高粗利率の達成**により利益率が大幅上昇  
(営業・経常利益率10%台へ)  
⇒**3期連続の増収、2ケタ増益を達成**
- 収益性の改善により**純利益は過去最高**  
⇒**配当金も過去最高の年間68円 (8円増配)** を予定

### 【半期別 営業利益・利益率】

上期・下期ともに増益 (下期の営業利益率13%台)



# TAMRON

# I - 2. 中期経営計画と進捗 ①連結業績

## 中期経営計画 (2018年2月公表)

	2017年 実績	2020年 中期計画
売上高	605億円	720億円
営業利益	42億円	66億円
営業利益率	7.0%	9.2%
ROE	5.8%	9%以上

※為替前提

ドル = 110円  
ユーロ = 130円

## 1年目進捗

2018年 実績
618億円
54億円
8.8%
8.6%

ドル = 110.45円  
ユーロ = 130.38円

## 2年目進捗

2019年 期初計画	2019年 実績
650億円	633億円
59億円	70億円
9.1%	11.0%
7.9%	10.1%

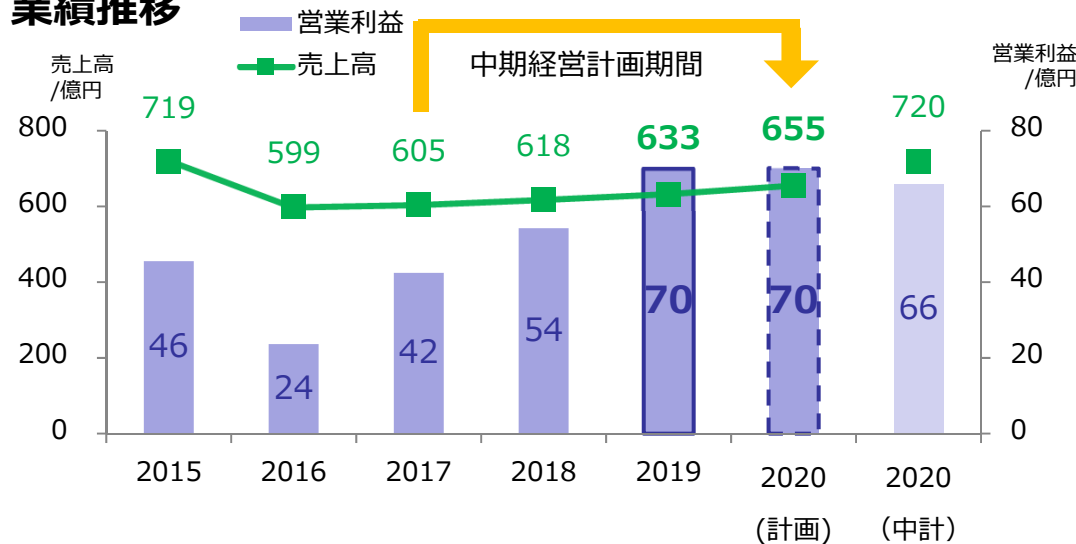
ドル = 110円      ドル = 109.04円  
ユーロ = 125円      ユーロ = 122.06円

## 最終年度計画

2020年 計画
655億円
70億円
10.7%
9.0%

ドル = 107円  
ユーロ = 120円

## 業績推移



## 営業利益・利益率・ROEは19年期初計画を大きく超過

### ⇒ 1年前倒しで中期計画を達成

- 一方で売上高は、19年期初計画を下回り、中期計画720億円の達成は困難な見通し

- 【主要因】
- ・為替影響
  - ・ドローン市場の見通しの乖離
  - ・一眼レフカメラ市場の想定以上の縮小

### ⇒ 利益面は中期計画以上、売上は4期連続増収を目指す

# I - 2 . 中期経営計画と進捗 ②分野別動向

## <分野別基本方針>

<b>デジタルカメラ分野 (成熟市場)</b>	大きな売上成長は前提とせず、収益性向上を最優先 (自社ブランドでの粗利率の向上、事業運営コストの効率化)
<b>監視/FA関連分野 (安定成長市場)</b>	多様な開発体制とレンズユニット・モジュール両輪での事業体制確立 (競争力の維持・確保、産業向けでの裾野拡大)
<b>重点分野 (高成長市場) ※ドローン/車載</b>	積極的なリソース投入による事業規模拡大フェーズ (開発キャパ確保等による対応力強化) (要素技術開発・コスト対応にかかる研究開発・設備投資) ⇒各重点分野での地位確立
<b>新規分野</b>	協業・M&A等も含めた新規事業候補の創出フェーズ ⇒2021年以降の本格的な売上成長実現を見据えた 確実な仕込み

## <2019年主な進捗>

### 写真関連営業利益率

16年 **8.6%** ⇒ **19年 18.7%**

- ・中国市場で増収転換
- ・モジュールビジネスの事業拡大  
**(売上高10億円超へ)**

- ・車載は2ケタ増収継続  
**(30%超の増収)**
- ・ドローンは環境変化も売上高10億円超を維持

- ・医療関連は増収
- ・新規案件での試作

# TAMRON

## I - 2. 中期経営計画と進捗 ②分野別動向 (※参考：売上高)

- ・デジタルカメラ関連の売上構成比：2017年 約80% ⇒ **2020年 約70%へ低減**
- ・監視/FA関連の売上高：2017年 100億円以下 ⇒ **2020年 約150億円へ (17年比 約1.5倍増)**

(単位：億円)

セグメント	カテゴリ	分野	2017年 実績	2018年 実績	2019年 実績	2020年 計画	※参考 2020年 中期計画
写真 関連	自社	デジタルカメラ	283	286	278	<b>282</b>	315
	OEM	デジタルカメラ	170	170	184	<b>170</b>	175
	計		453	456	462	<b>452</b>	490
レンズ 関連	DSC/VC	デジタルカメラ	27	20	16	<b>11</b>	5
	ドローン	重点	6	13	11	<b>6</b>	48
	他	監視/FA関連	1	1	0	<b>0</b>	2
	計		34	34	27	<b>17</b>	55
特機 関連	監視/FA他	監視/FA関連	95	101	108	<b>148</b>	123
	車載	重点	23	26	35	<b>36</b>	45
	他	新規	-	0	1	<b>2</b>	7
	計		118	127	144	<b>186</b>	175

---

## Ⅱ. 2019年実績

**TAMRON**



## II-1. 2019年 通期実績

(単位：百万円)

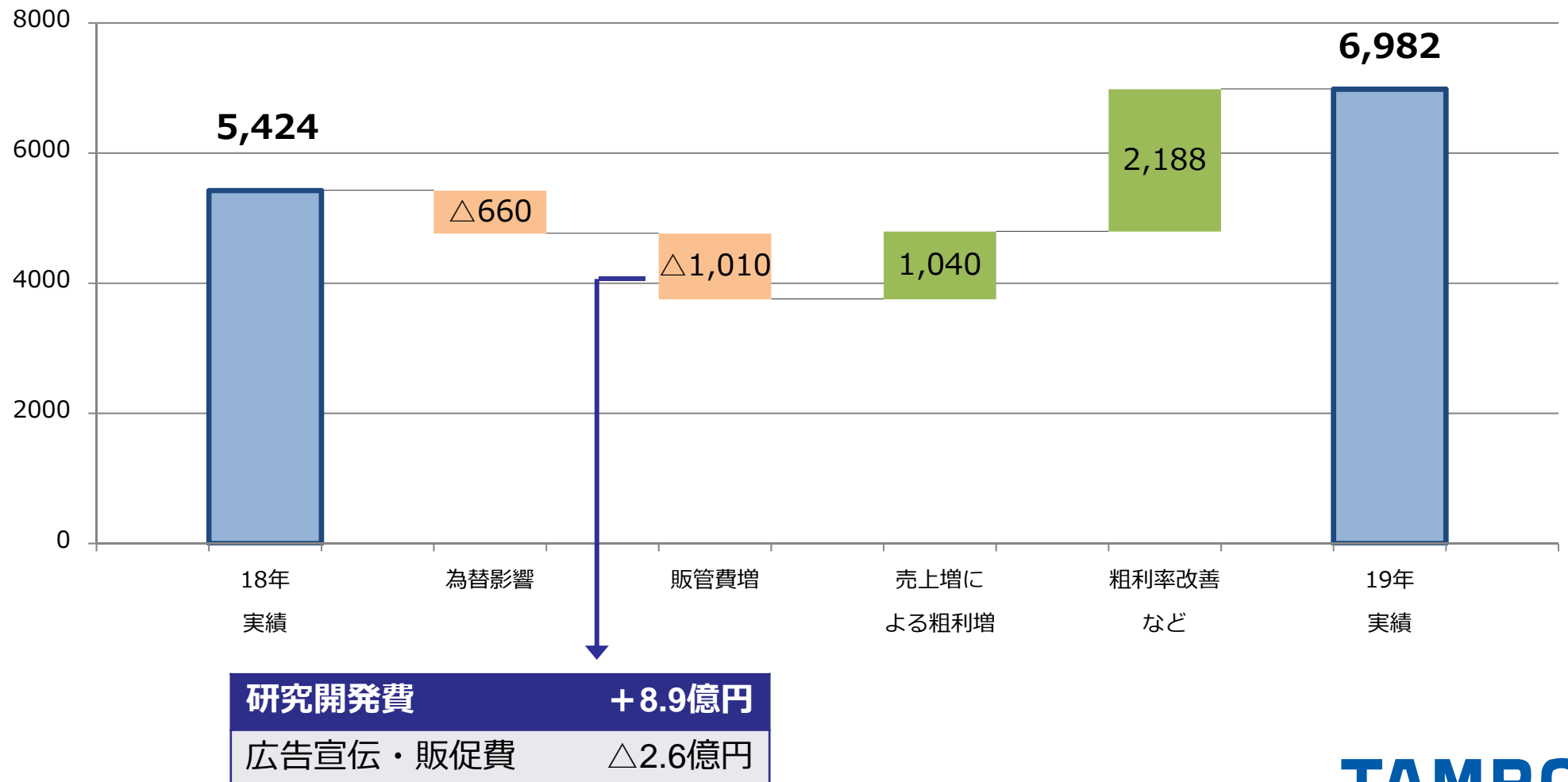
	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (10/31計画)	2019年 通期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	61,815	63,000	63,285	+1,469	102.4%	+285	100.5%
粗利益	21,905	—	24,229	+2,323	110.6%	—	—
粗利益率	35.4%	—	38.3%	+2.9%	—	—	—
営業利益	5,424	6,400	6,982	+1,558	128.7%	+582	109.1%
営業利益率	8.8%	10.2%	11.0%	+2.2%	—	+0.8%	—
経常利益	5,877	6,700	7,403	+1,525	126.0%	+703	110.5%
経常利益率	9.5%	10.6%	11.7%	+2.2%	—	+1.1%	—
当期純利益	4,330	4,690	5,330	+1,000	123.1%	+640	113.7%
純利益率	7.0%	7.4%	8.4%	+1.4%	—	+1.0%	—
ドル	110.45	108.80	109.04	△1.41	—	+0.24	—
ユーロ	130.38	121.50	122.06	△8.32	—	+0.56	—

- 為替のマイナス影響（売上高△14.7億円、営業利益△6.6億円）を吸収し、**増収かつ約30%増益**。
- 直近の計画に対して、**売上高、利益共に上ブレ**（利益面は約10%増）。

**TAMRON**

## Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)

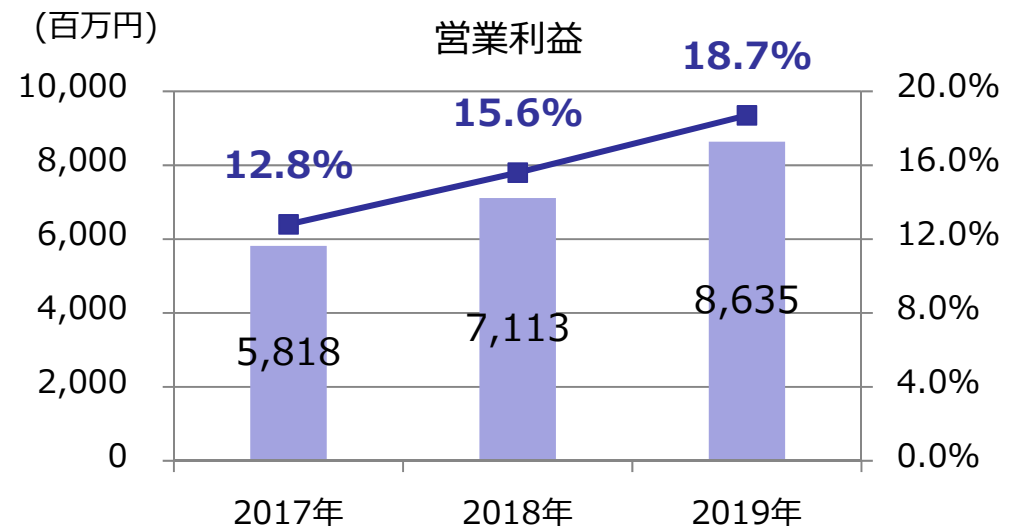
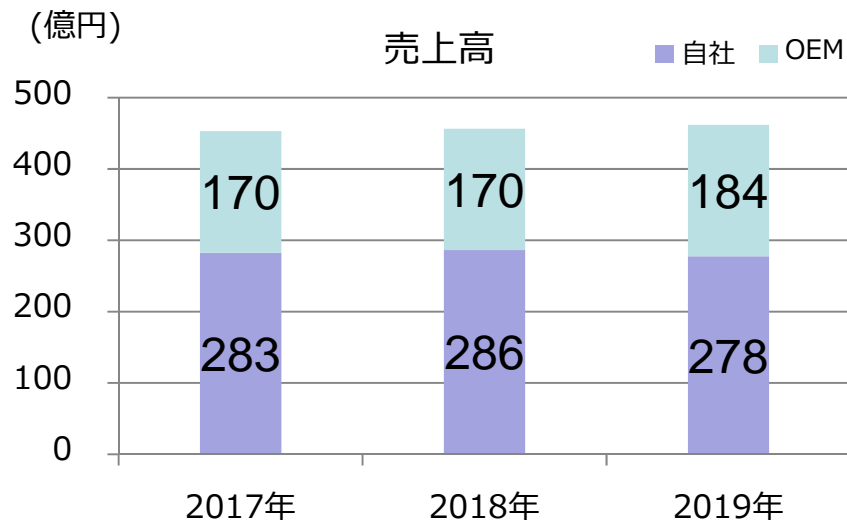


**TAMRON**

## II-3. 2019年 セグメント別通期実績 ①写真関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (10/31計画)	2019年 通期実績	増 減 (対前年)		うち 為替影響 額	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	45,640	45,900	46,175	+535	101.2%	△11.8億円	+275	100.6%
営業利益	7,113	8,100	8,635	+1,521	121.4%	△6.5億円	+535	106.6%
営業利益率	15.6%	17.6%	18.7%	+3.1%	-	-	+1.1%	-

- 自社ブランドはミラーレス製品の好調により市場縮小幅より少ない3%減の減収で着地。
- 自社ブランドの新製品投入効果等による粗利率改善・経費抑制により、大幅営業増益。**利益率18%台の高収益事業化。**



**TAMRON**

# 自社ブランド新製品投入状況

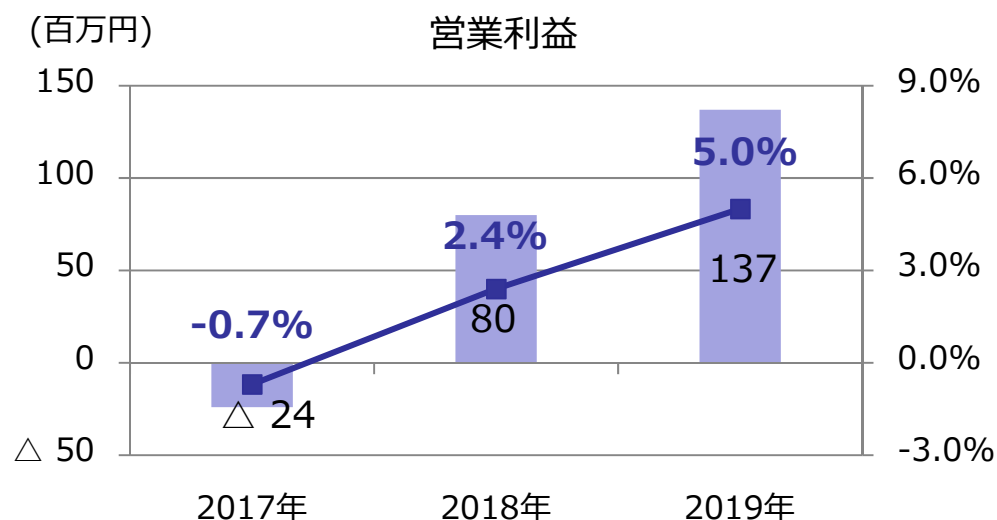
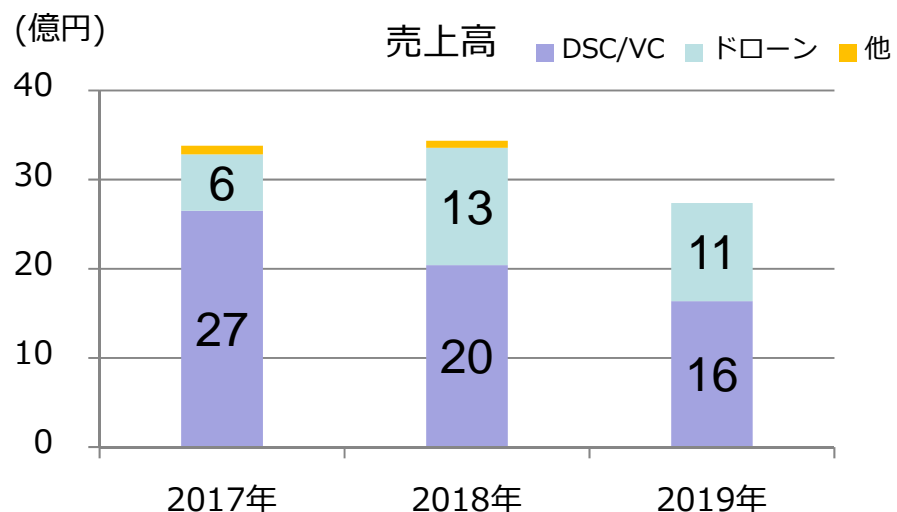
区分		2018年投入	2019年投入
ミラーレス	単焦点		12月発売  12月発売  24mm F/2.8 OSD M1:2 (F051) 35mm F/2.8 OSD M1:2 (F053)
	広角		7月発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)
	標準	5月発売  28-75mm F/2.8 RXD (A036)	
	望遠		
一眼レフ	4月発売  70-210mm F/4 VC USD (A034)	5月発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043)	
	9月発売  9月発売  17-35mm F/2.8-4 OSD (A037) SP 15-30mm F/2.8 VC USD G2 (A041)	6月発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)	

**TAMRON**

## II-3. 2019年 セグメント別通期実績 ②レンズ関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (10/31計画)	2019年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響 額	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	3,436	2,500	2,739	△697	79.7%	△0.5億円	+239	109.6%
営業利益	80	100	137	+56	169.3%	+0.1億円	+37	137.2%
営業利益率	2.4%	4.0%	5.0%	+2.6%	-	-	+1.0%	-

- DSC/VCはデジタルカメラ市場縮小の影響、ドローンは受注機種の販売伸び悩みにより、共に減収。
- 減収ながらも製品ミックス改善により増益。

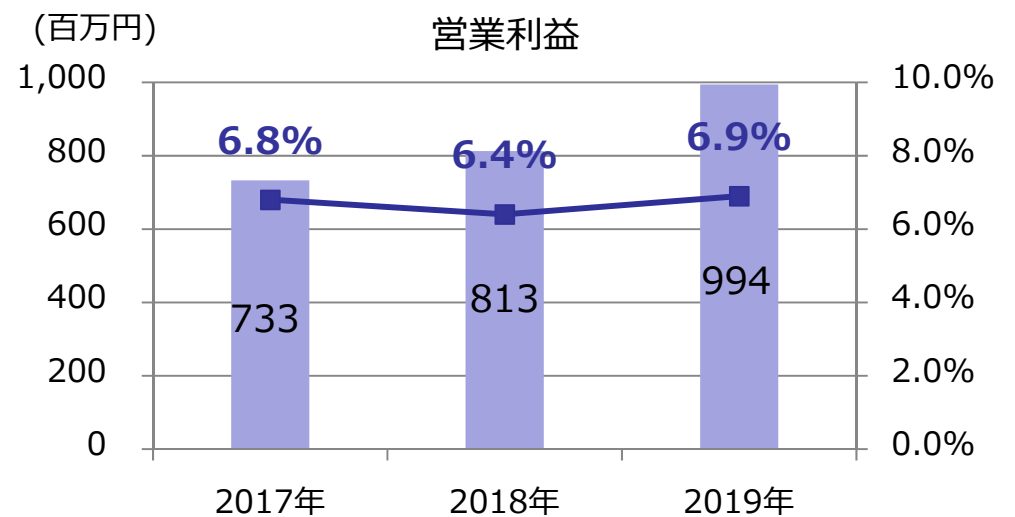
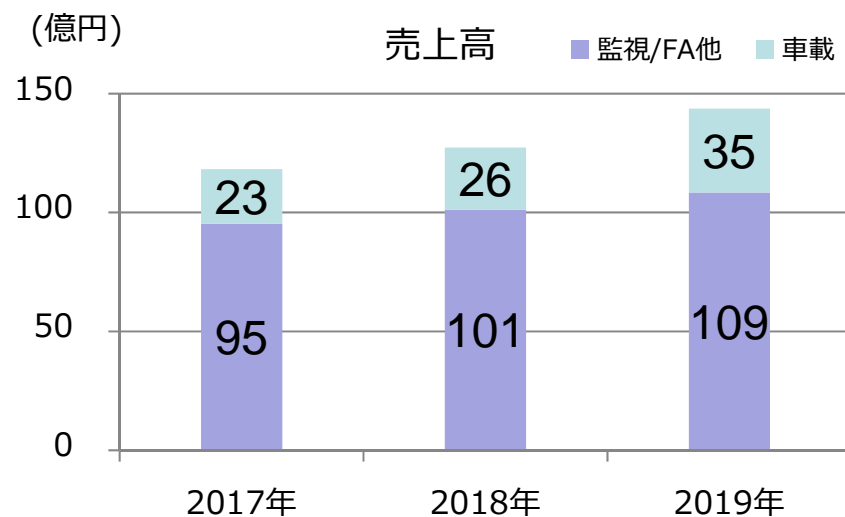


**TAMRON**

## Ⅱ-3. 2019年 セグメント別通期実績 ③特機関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (10/31計画)	2019年 通期実績	増 減 (対前年)		うち 為替影響	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	12,738	14,600	14,370	+1,632	112.8%	△2.4億円	△229	98.4%
営業利益	813	1,000	994	+181	122.3%	△0.2億円	△5	99.5%
営業利益率	6.4%	6.8%	6.9%	0.5%	—	—	0.1%	—

- 監視/FA用レンズ、車載用レンズ共に増収となり、**2ケタの増収増益**。
- 車載用レンズは売上が**センシング用途で伸長し30%超の増収**。



**TAMRON**

---

## Ⅲ. 2020年計画

**TAMRON**

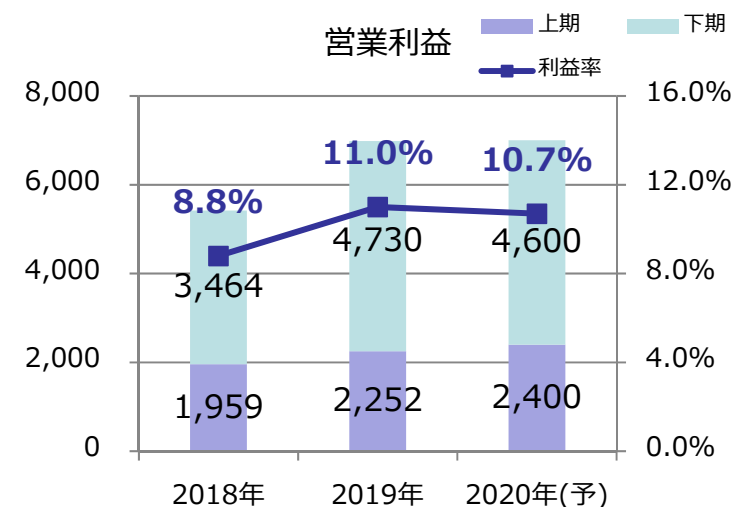
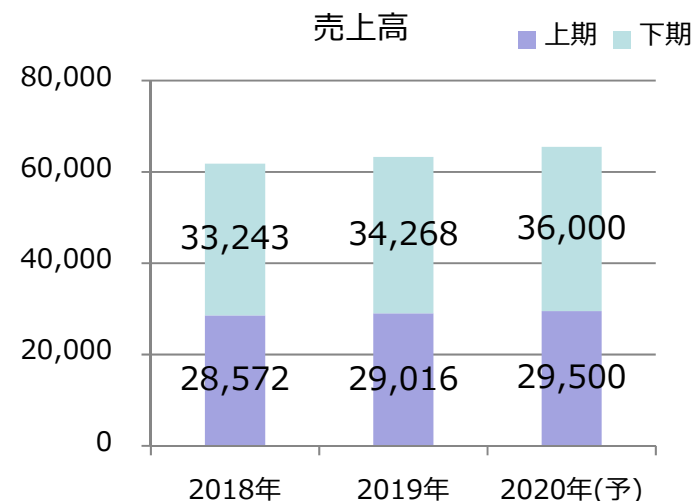
# Ⅲ-1. 2020年 通期計画

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増 減 (対前年)	
			額	率
売上高	63,285	65,500	+2,214	103.5%
営業利益	6,982	7,000	+17	100.2%
営業利益率	11.0%	10.7%	△0.3%	—
経常利益	7,403	7,000	△403	94.6%
経常利益率	11.7%	10.7%	△1.0%	—
当期純利益	5,330	5,010	△320	94.0%
純利益率	8.4%	7.6%	△0.8%	—
ドル	109.04	107.00	△2.04	—
ユーロ	122.06	120.00	△2.06	—

## 【通期見通し】

- 経営環境 ⇒ ・ドル、ユーロともに円高（売上高・利益面にマイナス影響）。  
・レンズ交換式カメラ・交換レンズ市場は縮小の前提。
- 当社業績 ⇒ ・市場縮小の影響でデジタルカメラ関連が減収も、特機関連で大幅増収。  
為替のマイナス影響あるも、**増収かつ営業増益**。



**TAMRON**

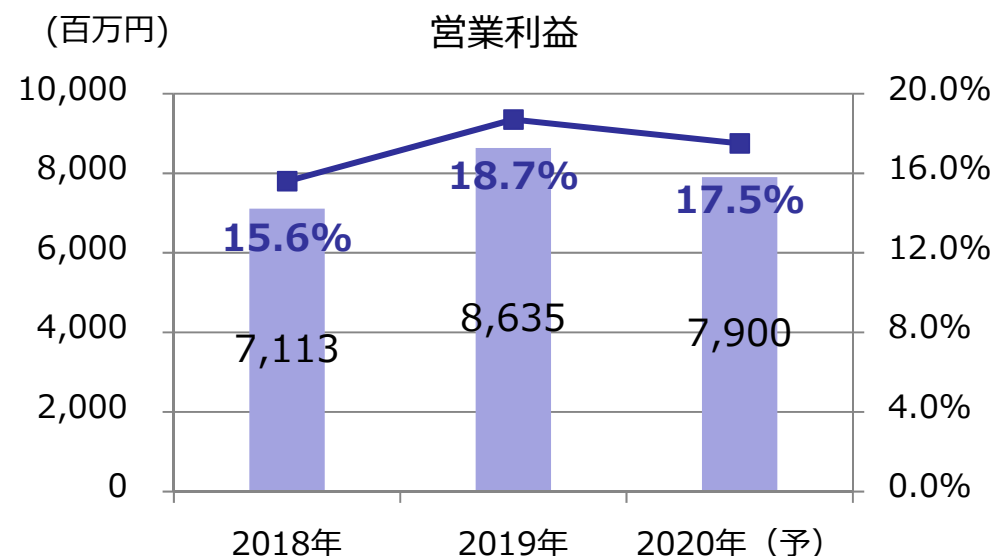
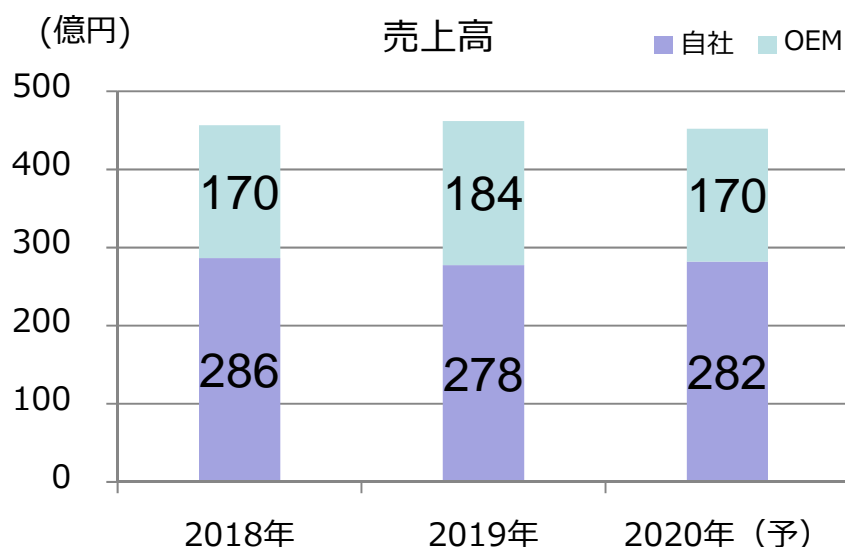


## Ⅲ-2. 2020年 セグメント別通期計画 ①写真関連

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	46,175	45,200	△975	97.9%
営業利益	8,635	7,900	△735	91.5%
営業利益率	18.7%	17.5%	△1.2%	-

- 市場縮小、為替のマイナス影響により減収減益も、**利益率は高水準を維持**。
- 自社ブランドは、新製品5機種程度投入し、ミラーレス用のラインナップ拡充により、**増収**を見込む。



**TAMRON**

# 自社ブランド新製品投入予定

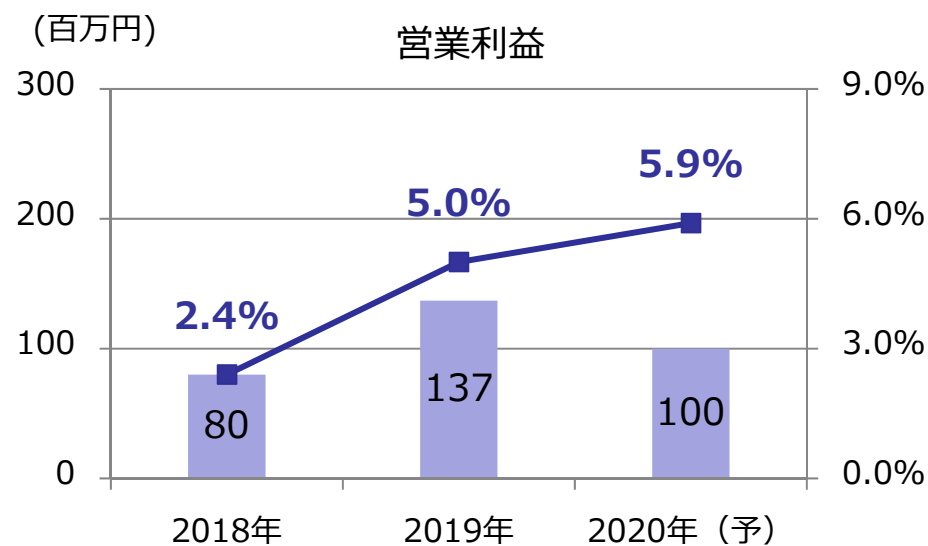
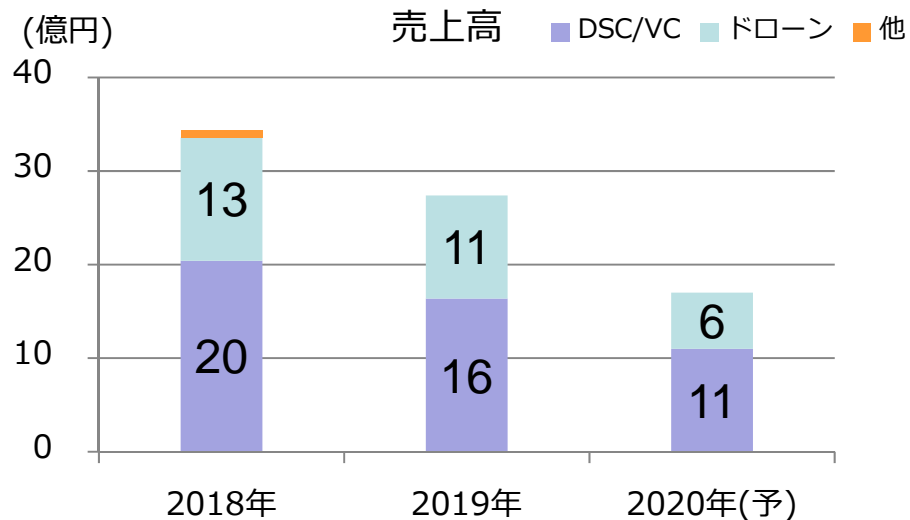
区分		2018年投入	2019年投入	2020年投入
ミラーレス	単焦点		12月発売  24mm F/2.8 OSD M1:2 (F051)                     12月発売  35mm F/2.8 OSD M1:2 (F053)	1月発売  20mm F/2.8 OSD M1:2 (F050)
	広角		7月発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)	2020年も年間5機種程度を予定。 ⇒既に表上の2機種は発表済み。
	標準	5月発売  28-75mm F/2.8 RXD (A036)		
	望遠			今春発売予定  70-180mm F/2.8 VXD (A056)
一眼レフ	4月発売  70-210mm F/4 VC USD (A034)                     9月発売  17-35mm F/2.8-4 OSD (A037)                     9月発売  SP 15-30mm F/2.8 VC USD G2 (A041)	5月発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043)                     6月発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)		

## Ⅲ-2. 2020年 セグメント別通期計画 ②レンズ関連

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	2,739	1,700	△1,039	62.1%
営業利益	137	100	△37	72.9%
営業利益率	5.0%	5.9%	0.9%	—

- DSC/VC、ドローン用レンズ共に減収。
- 大幅減収となるが、リソース配分等により、**利益率5%台は確保。**



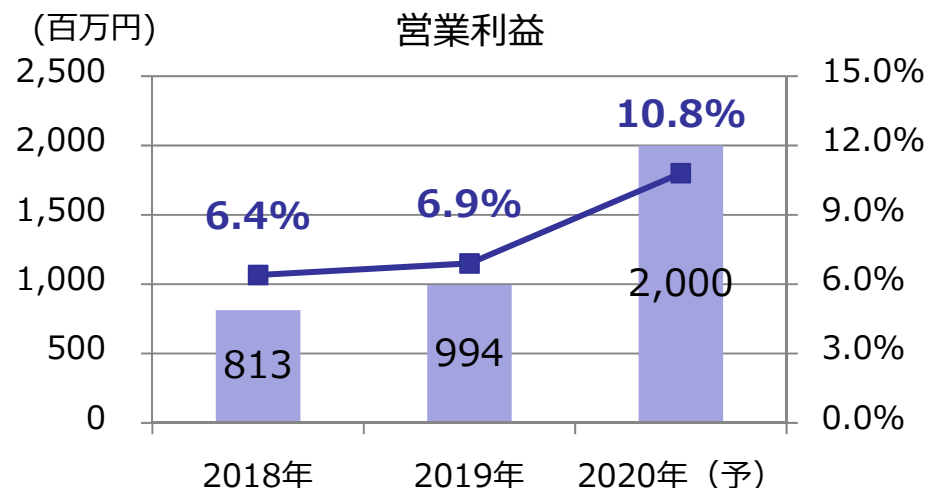
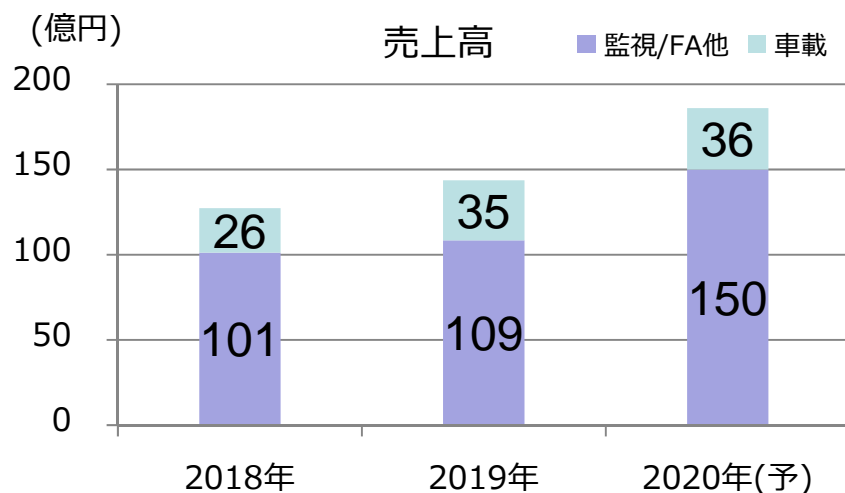
**TAMRON**

## Ⅲ-2. 2020年 セグメント別通期計画 ③特機関連

(単位：百万円)

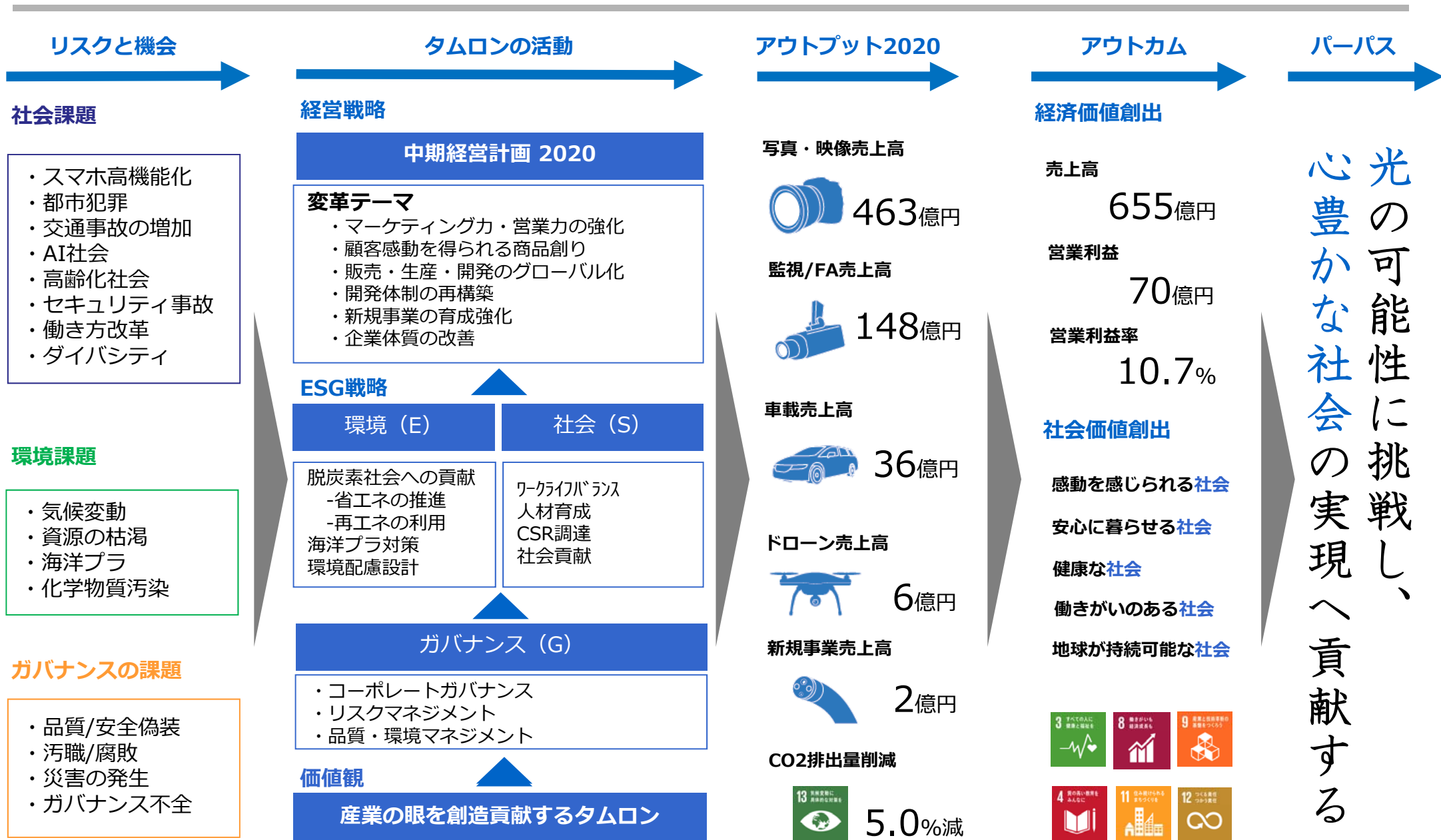
	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	14,370	18,600	+4,229	129.4%
営業利益	994	2,000	+1,005	201.1%
営業利益率	6.9%	10.8%	+3.9%	-

- 監視/FAは市場成長以上の**約40%の増収**。ピーク時を上回る**過去最高売上高更新へ**。
- 車載は自動車市場の一部停滞影響から伸び率は鈍化も増収継続。
- **営業利益は倍増、利益率10%台へ**。



**TAMRON**

# Ⅲ-3. ESGへの取り組み



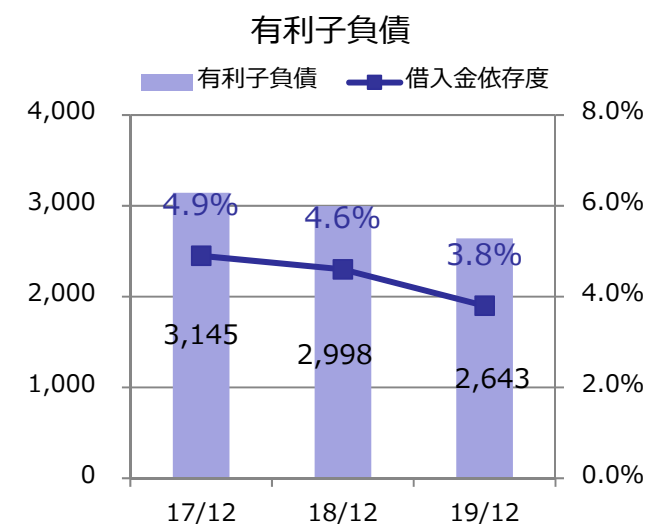
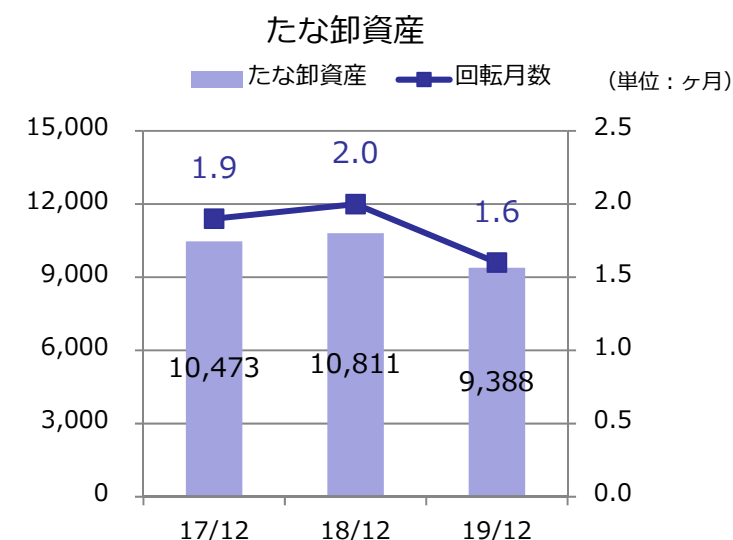
---

## IV. 参考情報

**TAMRON**

# IV-1. 財政状況

(単位：百万円)	2018年 12月末	2019年 12月末	増減 (対前期末)
現金・預金	22,438	28,384	+5,946
受取手形・売掛金	13,407	12,907	△500
たな卸資産	10,811	9,388	△1,423
その他流動資産	1,143	982	△160
固定資産	16,903	17,634	731
<b>資産合計</b>	<b>64,704</b>	<b>69,297</b>	<b>+4,592</b>
流動負債	11,553	12,299	+746
固定負債	2,299	2,458	+159
純資産	50,852	54,539	+3,686
<b>負債純資産合計</b>	<b>64,704</b>	<b>69,297</b>	<b>+4,592</b>
自己資本比率	78.6%	78.7%	+0.1%

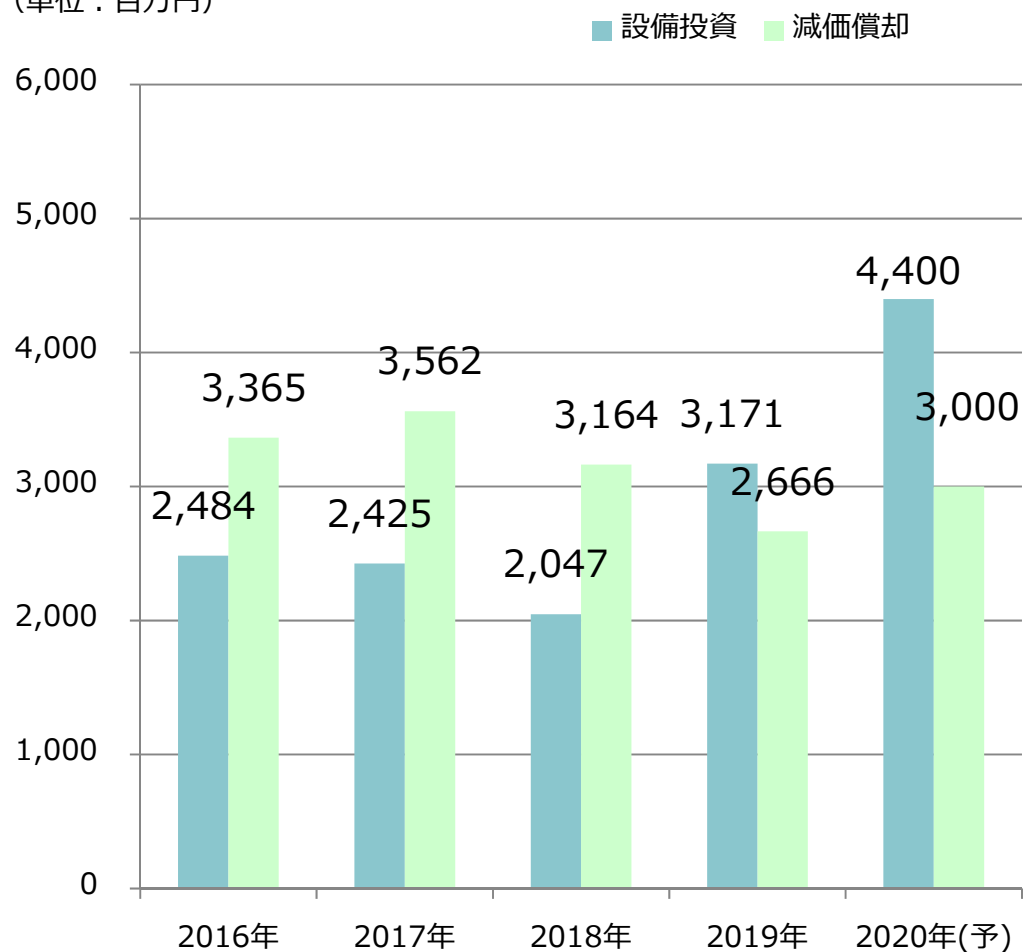


**TAMRON**

## IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

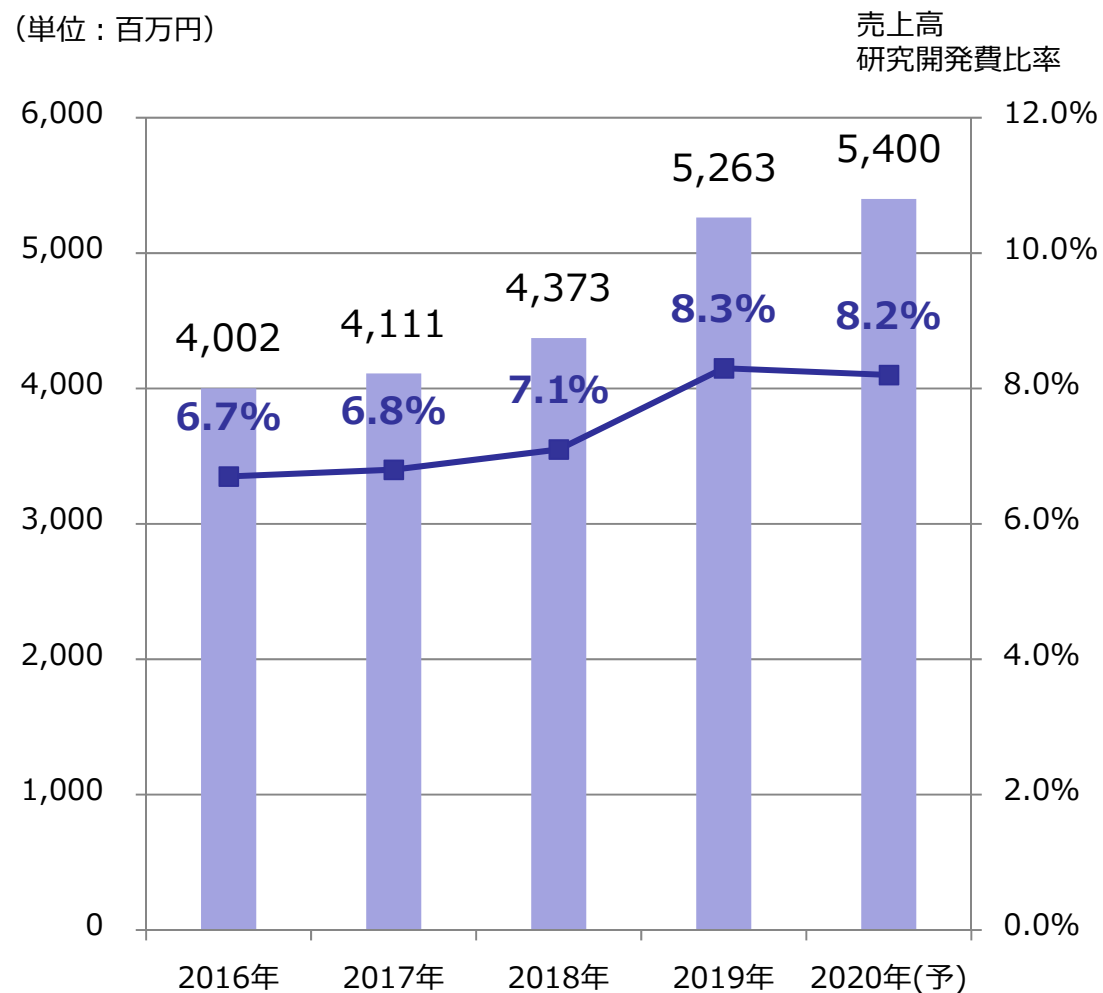
設備投資額・減価償却費

(単位：百万円)



研究開発費

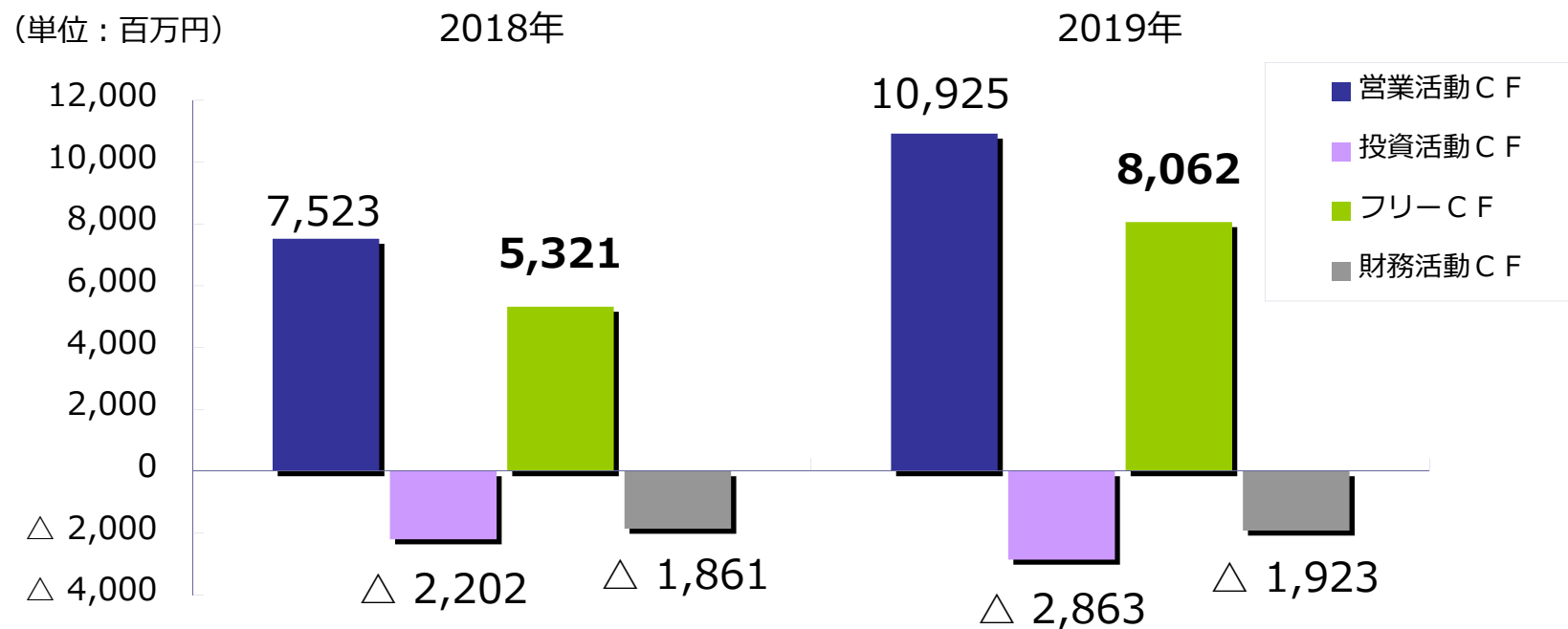
(単位：百万円)



**TAMRON**

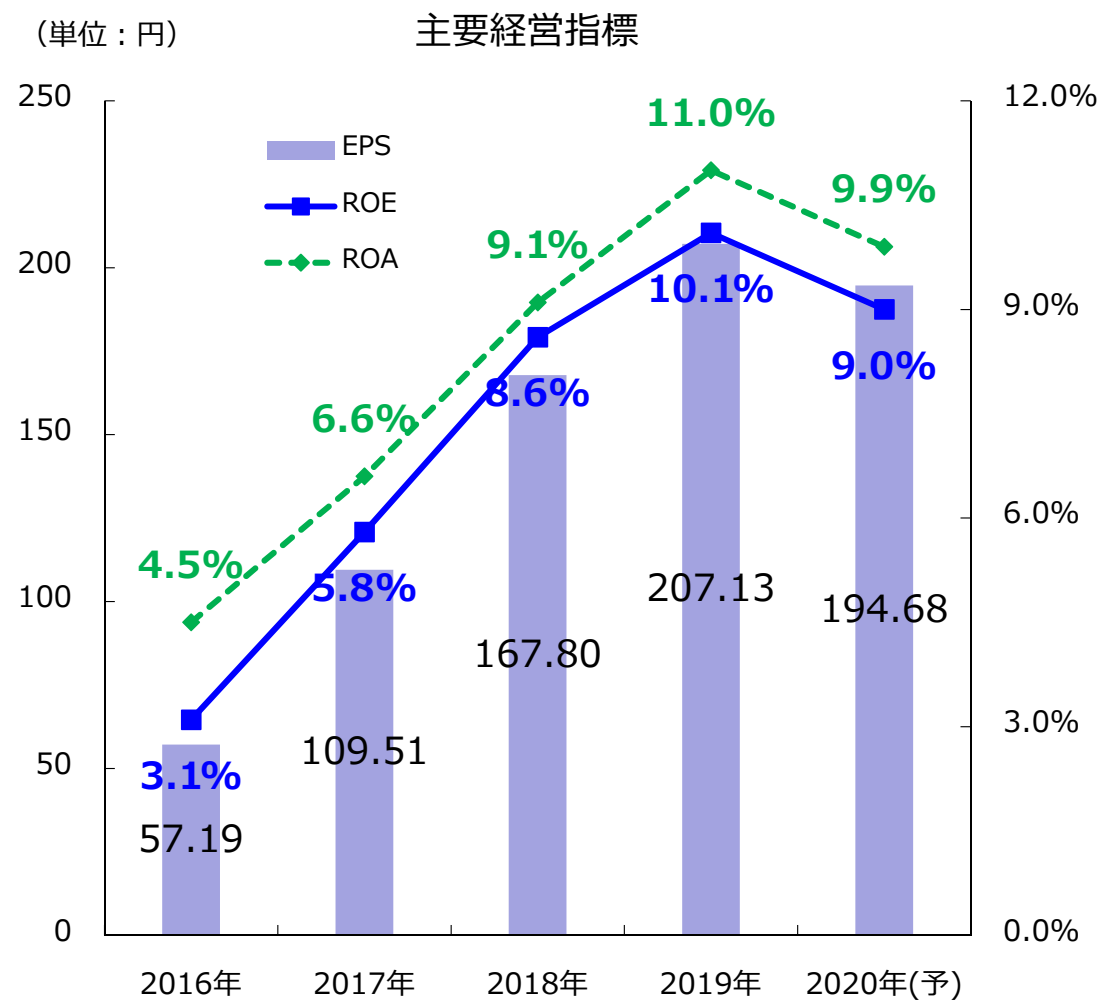
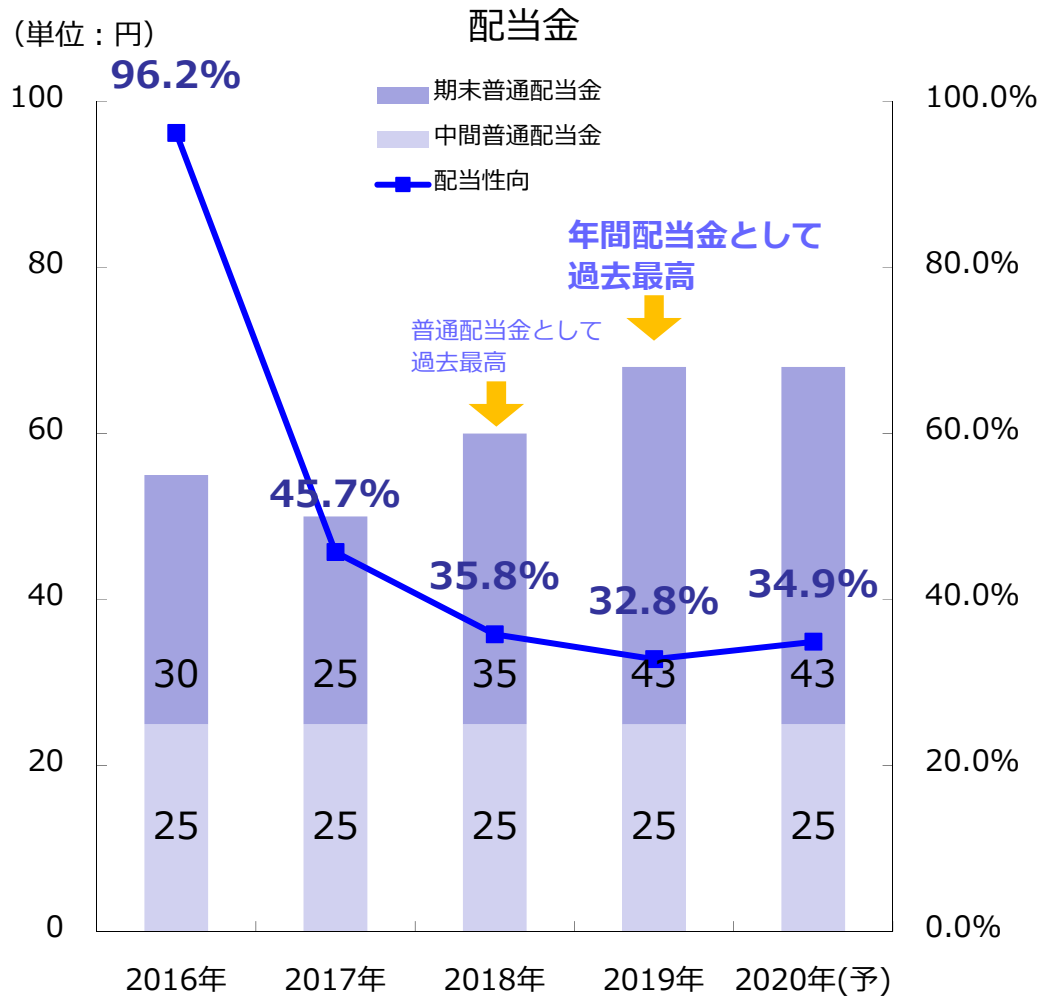


## IV-3. キャッシュ・フロー



	2018年	2019年
営業活動CF	7,523	10,925
投資活動CF	△2,202	△2,863
フリーCF	5,321	8,062
財務活動CF	△1,861	△1,923
現金及び現金同等物の期末残高	22,438	28,384

# IV-4. 配当金、主要経営指標



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)  
 ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

## 配当政策

- ・ 配当性向目標(連結ベース) : **35%程度**
- ・ 安定配当

# TAMRON

## IV-5. 為替影響

### ①2019年 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2018年実績	2019年実績	売上高	営業利益
米ドル	110円45銭	109円04銭	△5.9億円	△0.9億円
ユーロ	130円38銭	122円06銭	△6.1億円	△5.1億円
他通貨	-	-	△2.7億円	△0.6億円
合計	-	-	△14.7億円	△6.6億円

(前期実績に対する影響額)

### ②2020年 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2020年前提	売上高	営業利益
米ドル	107円00銭	△3.3億円	△0.2億円
ユーロ	120円00銭	△0.8億円	△0.7億円

**TAMRON**

# 将来の事象に係る記述に関する注意

---

1. 本資料は、2019年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。